

24時間の生活の中でリハビリテーションを行っていきます。

患者さんの一日スケジュール(例)



理学療法士(PT)とは

骨折・脳卒中などで身体に障害を負ってしまった方に対し、起き上がり・立ち上がり・歩行などの日常の基本動作の再獲得を目的にリハビリを行います。



言語聴覚士(ST)とは

脳卒中後など、言葉を発する・聞くなどに障害がでた場合に、機能の再獲得を目標にリハビリを行います。また、嚥下(食べ物の飲み込みなど)の機能が低下した方に対しても、リハビリを行います。

レクリエーションとは

入院中の生活では日中の活動量が低下してしまいます。それを防ぐため、個別リハビリ以外の時間を有意義に過ごして頂けるよう余暇活動も行っています。

作業療法士(OT)とは

骨折・脳卒中などによって、トイレ動作・入浴動作・着替え・食事時の箸・スプーン等の物品の使用など、日常生活に必要な細かな動作のリハビリを行います。



リハビリスタッフが365日毎日途切れることなく個別訓練を行います。「できるADL」ではなく「しているADL」にアプローチしていきます。

離床活動

個別訓練に加え、趣味活動や体操など集団活動を病棟スタッフと協力して行い、起きて生活する習慣をつけていただきます。それにより、帰宅後もベッドから離れて生活することができます。

運動

社会交流

レクリエーションなどの患者さん・家族同士の交流を図り、退院後に続く仲間作りを支援していきます。

※ADLとは?

日常生活動作の事で、食事や排泄、整容、移動、入浴などの基本的な動作を差します。



運転シミュレーター

疾患やケガにより体の動きが不十分になるだけではなく、周囲への危険予測や反応が鈍くなることがあります。運転操作を体験する事で、反応の速さ、正確さ、集中力、判断力を確認する事ができます。



トレーニングマシン

筋力測定を行い、その方に合ったトレーニングを行うことができます。パソコンにて、実施回数や筋力の変化等のトレーニング効果を記録しておく事ができます。



シミュレーションルーム

退院後の自宅を想定し、玄関・リビング・和室・トイレ・浴室を設置しています。ご家族様に患者さんと一緒に過ごしていただき、介助を体験し介助方法を指導させていただきます。



浴室

安全に入浴できる方法を検討し、練習を行っていきます。患者さんに合わせた福祉用具を選定し、動作練習・入浴方法を指導していきます。